

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		母子保健推進員設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	鍛野 文昭
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	健康づくり推進課	担当者名	太田 真由美
	基本事業	59	相談支援体制の充実			所属班	健康推進班	(内線)	2132
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 10609	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	行政と子育て中の親とのパイプ役として母子保健推進員を配置。乳幼児健診等で保護者が安心して受診できるよう子どもの世話をしたり、育児不安などの聞き役や情報提供を行う。合併前は、旧西合志町のみ設置しており妊産婦及び赤ちゃんの訪問を実施していた。平成18年度より、乳幼児健診、マタニティ学級での活動が主となった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	広報・チラシを配布し、母子保健推進員を募集。2年毎に委嘱状交付。年2回会議及び研修を開催。乳幼児健診等の出勤日を割り振り、4半期に1度謝礼の支払い事務を行う。
【主な予算費目】	報償費、役務費
【意見や要望】	母子保健推進員より、「たくさんの子どもたちに接することができてうれしい」「できるだけ保護者の方が安心できる声かけをしたい」などの声がある。保護者より、「健診中、上の子や下の子をみてもらえるので、安心できます」「母子保健推進員さんが子どもをみてくれたから安心してマタニティ学級(乳幼児健診)に参加することができました」との声が多い。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
母子保健推進員14人、会議開催数2回、乳幼児健診等への参加(1回の健診に母子保健推進員2~3人配置)	平成27年度より乳幼児健診事業に統合(乳幼児健診での活動が主のため)。平成26年度と同様に活動予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 母子保健推進員の人数	人
イ 乳幼児健診等で活動した母子保健推進員の延べ人数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
母子	(単位)
	→ ア 4カ月・7カ月・1歳半・3歳児健診の対象者
	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心して乳幼児健診等を受診でき、保健指導等を受けることができる。	(単位)
	→ ア 乳幼児健診の受診率
	%
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
母子保健推進員の活動で乳幼児健診を受けやすい環境を提供することができ、受診率を上げることにつながるため成果指標とする。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標	ア 人		12	11	14	14	0	0	0	0	
	イ 人		206	217	240	196	0	0	0	0	
② 対象指標	ア 人		2,757	2,709	2,750	2,785	0	0	0	0	
	イ 人										
③ 成果指標	ア %		97.8	97.6	98	98.3	0	0	0	0	
	イ %										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	210	210	251	202				
		(A) 事業費計	千円	210	210	251	202	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	460	438	685	318	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	5	4	2	1	0	0	0	0	
	延べ業務時間	時間	113	110	172	80	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	460	438	685	318	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	670	648	936	520	0	0	0	0	

事務事業名	母子保健推進員設置事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した マタニティ学級では、子どもと一緒に参加される人が少なかった為、学級での活動は少なかった。そのため、活動延べ人員は目標より少なくなった。健診では、2人の推進員を配置していたが、対象者が多い健診では不足だったため、平成27年度では対象者数に応じ配置人数を増やすなど検討する。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 健診では、対象者数に応じ推進員の人数を調整し、安心して保護者が受診できる環境を整えることで、目標達成につながる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 基本的には2人の配置を行い、必要に応じ活動人数の調整を行う。安心して、健診等が受けられるよう現体制を維持していく。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の報償費で活動をしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の人件費である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 母子保健推進員は市の事業（健診、マタニティ学級）で活動し、事業の対象者、利用者に対しサービスを提供（無料）している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 行政と子育て中の親のパイプ役としての活動であるため、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

計画通りに実施。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 予算上、乳幼児健診事業と統合するが、活動内容は、今後も前年度同様行う。また、健診等の活動の場の状況に応じ、推進員の人数を調整し対応していく。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 多様化する保護者に、推進員の研修等を実施しスキル向上を図る。																							